

新潟県燕三条地方の元気な企業見学記 …YSEC(株)、(株)セブン・セブン、地場産業振興センター…

ATAC では毎年優れた技術や製品をもつ企業を訪問する一泊研修旅行を行い、メンバーの見聞を広めて日常のコンサルティングに役立てています。昨年(2014年)は12月3～4日に新潟県の優れた二つの企業と地場産業振興センターを訪問しました。

◆ YSEC 株式会社



YSEC は、新潟市で航空・宇宙機器、防衛機器、医療機器などの難削材加工、難形状加工に焦点をおいた精密部品加工を得意とする資本金 5 千万円の会社です。平成 16 年に設立され、産官学連携による航空機関連産業支援の取組みに参加し、無人飛行機用ジェットエンジンの開発や製造にも携わるなど、航空機分野を中心とした事業を展開する時代の最先端を走る姿に心を打たれました。

◆ 株式会社セブン・セブン



セブン・セブンは昭和 40 年に燕市で金属器物製造業からスタートし、平成 15 年に現在の社名に改めた、資本金 1 千万円、従業員 55 人の、ステンレス・チタンを使用した真空容器の製造を得

意とするユニークな企業です。このセブン・セブン製の真空チタンカップは、2010 年に日本で開催された APEC の参加国首脳への贈答品に‘日本の技術と和の美しさを兼ね備えたもの’として選ばれたそうです。かなり高価なカップですが、多くの ATAC メンバーが土産にしたほど魅力的な逸品でした。

◆ 燕三条地場産業振興センター



一般財団法人燕三条地場産業振興センターは、昭和 63 年にオープンし、地域企業の経営、生産管理、生産技術など広範囲な支援をしております。

世界的にも知名度の高い作業工具・各種刃物・金属洋食器などの製品を生み出す燕三条地区を紹介し、地域企業間の受発注・共同研究・新分野への参入などを仲介する事業を行っていました。

伝統的な技術をベースに地域をさらに発展させるための地道な事業内容が大変参考になりました。

燕三条地区の‘ものづくり’は有名ですが、独自の技術力で数々の特産品を作っている姿を現地で垣間見ることができました。空港までの帰り路では新潟を代表する「宝山」酒蔵に立ち寄り、美酒と新潟美人の説明に聞き惚れながらしばし旅の疲れを癒しました。(齋藤、山口、佐々木、池田雅)